



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月26日

上場会社名 株式会社 小糸製作所
 コード番号 7276 URL <http://www.koito.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 2018年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 三原 弘志
 (氏名) 小長谷 秀治
 TEL 03-3443-7111
 配当支払開始予定日 2018年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	392,601	11.9	46,503	6.4	48,858	6.6	33,155	13.7
2018年3月期第2四半期	445,671	16.1	49,688	25.0	52,312	31.9	29,156	27.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 40,012百万円 (3.8%) 2018年3月期第2四半期 41,594百万円 (402.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	206.28	206.21
2018年3月期第2四半期	181.42	181.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	705,910	474,581	61.9	2,717.41
2018年3月期	672,055	444,808	61.0	2,551.48

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 436,772百万円 2018年3月期 410,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		36.00		60.00	96.00
2019年3月期		40.00			
2019年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

(注3) 2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当20円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	809,000	4.7	98,000	5.6	101,000	6.4	69,000	17.3	429.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	160,789,436 株	2018年3月期	160,789,436 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	58,220 株	2018年3月期	58,106 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	160,731,292 株	2018年3月期2Q	160,712,556 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2018年11月7日に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(参考) 2019年3月期の個別業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	361,000	6.2	38,000	1.1	55,000	△ 1.4	42,000	△ 32.5	261	31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、好調な企業業績を背景に設備投資が増加、個人消費の回復継続もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界においては、欧米・中国・アジア経済が堅調に推移、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の激化、ドル高や新興国の通貨安、原油高、地政学的リスク等はあるものの、総じて堅調に推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、軽自動車販売は好調なものの登録車が新車効果の一巡により減産となったことから、生産台数は前年同期に比べ減少いたしました。海外では、中国やアジア、欧州での需要増等により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業において新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展等がありましたものの、従来連結子会社であった上海小糸車灯有限公司（以下、「上海小糸社」といいます。）を2017年9月末に持分法適用会社とし、2018年3月末に連結対象から除外した影響から、前年同期比11.9%減の3,926億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

〔日本〕

自動車生産台数が減少するなか、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比3.2%増の1,759億円となりました。

〔北米〕

NAFTA交渉が不透明のなか自動車生産台数は横這いとなったものの、自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比5.8%増の956億円となりました。

〔中国〕

自動車生産台数の増加や新規受注の拡大はあるものの、上海小糸社を連結対象から除外した影響から、売上高は前年同期比58.9%減の483億円となりました。

〔アジア〕

自動車生産台数の増加に加え、タイヤインドにおける新規受注の拡大、二輪車ランプのLED化進展等により、売上高は前年同期比16.5%増の531億円となりました。

〔欧州〕

自動車生産台数が増加するなか、受注車種の新車効果の一巡や生産終了等もあり、売上高は前年同期比11.5%減の189億円となりました。

〔その他〕

2018年5月よりブラジル子会社にて生産を開始、売上高は4億円となりました。

利益につきましては、国内外における改善合理化を推進したものの、上海小糸社を連結対象から除外した影響、研究開発の強化等により、営業利益は前年同期比6.4%減の465億円、経常利益は前年同期比6.6%減の488億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前期に独禁法関連損失を計上したこともあり前年同期比13.7%増の331億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

－1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期末の資産の残高は、受取手形及び売掛金などが減少したものの、現金及び預金の増加、及び設備投資に伴う有形固定資産が増加したこと等により、前期末に比べ338億円増加の7,059億円となりました。

負債の残高は、設備投資に係る未払金の増加等により、前期末に比べ40億円増加の2,313億円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金が増加したこと等から、前期末に比べ297億円増加の4,745億円となりました。

－2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益482億円、減価償却費146億円を主体に688億円となり、法人税等を支払った結果、493億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資306億円等を実施した結果、224億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金等の支払い114億円等を実施した結果、92億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ173億円増加の583億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内外における新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展が見込まれるものの、上海小糸社を連結対象から除外した影響から、前期比減収の予想であります。

利益につきましては、売上高と同様に上海小糸社の影響に加え、研究開発の強化により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各利益において減益の見通しであります。

当社は、当期業績及び経営環境等を総合的に勘案した安定的かつ継続的な配当を基本方針としております。当第2四半期末における1株当たり株主配当金につきましては、前第2四半期末に対し4円増配、前期末の普通配当（特別配当20円を除く）と同額の40円といたしました。当期末配当金につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、現時点では未定とさせていただき、業績動向を踏まえ、改めて公表させていただく予定です。

今後とも株主皆様のご期待にお応えすべく、更なる収益向上に努めて参りたく存じます。

なお、2018年7月26日の第1四半期決算短信にて公表いたしました2019年3月期通期の業績予想（連結・個別）は以下の通り修正しております。

(百万円未満切捨て)

2019年3月期 通期 (2018年4月1日～2019年3月31日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	805,000	100,000	103,000	70,000	435 51
今回予想 (B)	809,000	98,000	101,000	69,000	429 29
増減額 (B-A)	4,000	△2,000	△2,000	△1,000	—
増減率 (%)	0.5	△2.0	△1.9	△1.4	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	848,868	103,785	107,945	83,397	518 90

(参考) 2019年3月期 通期 (2018年4月1日～2019年3月31日) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	362,000	38,500	55,000	40,000	248 86
今回予想 (B)	361,000	38,000	55,000	42,000	261 31
増減額 (B-A)	△1,000	△500	—	2,000	—
増減率 (%)	△0.3	△1.3	—	5.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	339,976	37,599	55,791	62,228	387 18

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	260,644	270,293
受取手形及び売掛金	116,329	110,433
電子記録債権	13,154	12,385
たな卸資産	62,293	65,712
その他	23,905	29,950
貸倒引当金	△503	△622
流動資産合計	475,825	488,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,735	42,278
機械装置及び運搬具（純額）	51,000	58,432
工具、器具及び備品（純額）	13,592	16,136
土地	15,687	16,145
建設仮勘定	15,918	17,051
有形固定資産合計	133,935	150,043
無形固定資産	2,419	2,554
投資その他の資産		
投資有価証券	49,707	49,789
破産更生債権等	60	60
繰延税金資産	8,400	11,340
その他	1,994	4,264
貸倒引当金	△287	△294
投資その他の資産合計	59,875	65,159
固定資産合計	196,230	217,757
資産合計	672,055	705,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,217	89,101
電子記録債務	10,757	10,463
短期借入金	15,845	18,953
未払費用	20,959	24,727
未払法人税等	18,286	9,699
賞与引当金	5,189	5,899
製品保証引当金	3,035	2,596
独禁法関連損失引当金	80	85
その他	10,721	16,912
流動負債合計	177,092	178,438
固定負債		
長期借入金	13,083	10,722
繰延税金負債	4,499	6,782
役員退職慰労引当金	424	447
製品保証引当金	5,192	5,549
環境対策引当金	184	513
退職給付に係る負債	24,974	26,847
その他	1,795	2,029
固定負債合計	50,154	52,891
負債合計	227,247	231,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	16,716	16,760
利益剰余金	350,903	374,414
自己株式	△54	△55
株主資本合計	381,836	405,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,969	24,817
為替換算調整勘定	3,902	6,278
退職給付に係る調整累計額	394	286
その他の包括利益累計額合計	28,266	31,382
新株予約権	245	245
非支配株主持分	34,460	37,563
純資産合計	444,808	474,581
負債純資産合計	672,055	705,910

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	445,671	392,601
売上原価	365,843	323,391
売上総利益	79,827	69,209
販売費及び一般管理費	30,138	22,706
営業利益	49,688	46,503
営業外収益		
受取利息	463	632
受取配当金	688	657
持分法による投資利益	13	6
為替差益	72	478
その他	2,097	1,115
営業外収益合計	3,335	2,890
営業外費用		
支払利息	516	428
その他	195	107
営業外費用合計	711	535
経常利益	52,312	48,858
特別利益		
固定資産売却益	28	273
特別利益合計	28	273
特別損失		
固定資産除売却損	284	256
環境対策引当金繰入額	—	332
たな卸資産評価損	—	268
独禁法関連損失	1,575	—
減損損失	156	—
特別損失合計	2,016	857
税金等調整前四半期純利益	50,323	48,274
法人税、住民税及び事業税	13,173	11,746
法人税等調整額	3,538	49
法人税等合計	16,712	11,795
四半期純利益	33,611	36,478
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,156	33,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,455	3,323

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,401	959
為替換算調整勘定	3,950	2,678
退職給付に係る調整額	△105	△104
持分法適用会社に対する持分相当額	735	—
その他の包括利益合計	7,982	3,533
四半期包括利益	41,594	40,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,896	36,270
非支配株主に係る四半期包括利益	4,698	3,741

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	50,323	48,274
減価償却費	15,614	14,619
減損損失	156	-
株式報酬費用	48	44
持分法による投資損益(△は益)	△13	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△284	124
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△375	△535
賞与引当金の増減額(△は減少)	511	693
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△740	△82
受取利息及び受取配当金	△1,151	△1,289
支払利息	516	428
たな卸資産評価損	-	268
有形固定資産除売却損益(△は益)	256	△16
環境対策引当金繰入額	-	332
独禁法関連損失	1,575	-
売上債権の増減額(△は増加)	5,819	7,546
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,104	△3,789
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,937	△5,346
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,689	△3,549
未払費用の増減額(△は減少)	3,174	3,170
その他	1,342	7,948
小計	73,915	68,834
利息及び配当金の受取額	1,151	1,289
利息の支払額	△516	△428
独禁法関連損失の支払額	△2,372	-
法人税等の支払額	△15,203	△20,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,975	49,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△96,599	△84,300
定期預金の払戻による収入	78,504	92,561
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△9	△10
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△19,262	△30,627
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	△26	708
貸付けによる支出	△1	△2
貸付金の回収による収入	7	4
その他	355	△821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,031	△22,487

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△428	2,373
長期借入れによる収入	927	655
長期借入金の返済による支出	△1,687	△1,973
自己株式の取得による支出	△0	△0
ストックオプションの行使による収入	0	-
非支配株主からの払込みによる収入	-	1,144
親会社による配当金の支払額	△5,460	△9,638
非支配株主への配当金の支払額	△4,424	△1,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,072	△9,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,228	△309
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,100	17,301
現金及び現金同等物の期首残高	39,500	41,050
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△9,624	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,975	58,352

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	170,530	90,402	117,693	45,655	21,388	—	445,671	—	445,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,111	3	1,200	3,407	49	—	14,771	(14,771)	—
計	180,642	90,405	118,894	49,062	21,437	—	460,442	(14,771)	445,671
セグメント利益又は損失 (△)	27,107	7,661	8,299	4,533	1,799	△140	49,261	427	49,688

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額427百万円には、セグメント間取引消去3,290百万円及び配賦不能営業費用△2,862百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド
- (3) 欧州 …英国、チェコ
- (4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	175,991	95,628	48,394	53,178	18,936	472	392,601	—	392,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,421	22	2,365	3,130	82	4	20,026	(20,026)	—
計	190,412	95,650	50,759	56,309	19,018	477	412,627	(20,026)	392,601
セグメント利益又は損失 (△)	26,247	6,314	6,930	6,076	1,476	△1,047	45,998	504	46,503

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額504百万円には、セグメント間取引消去3,571百万円及び配賦不能営業費用△3,067百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1)北米 …米国、メキシコ

(2)アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア

(3)欧州 …英国、チェコ

(4)その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。